

# 2010年度（設立初年度）事業報告

## 1．設立初年度の状況

2010（平成22）年11月25日（登記完了の日）～2011（平成23）年6月30日。

設立初年度は、法人の設立し法人体制の整備を行うとともに、任意団体との調整を行いながら、2011年度に実施される対外事業の準備を中心に一部移管をうけて執行した。また、公益認定を申請するかどうかの検討を行った。

（参考：法人会員数）正会員：36名（設立時社員：24名、下半期からの移行：12名）  
学生会員：7名（下半期入会）

## 2．事業概要

### 2-1．法人運営（総務）に関わる事項

#### （1）法人の運営体制の確立

##### ・各種規則類の整備

定款（2010年11月4日認証）

定款施行細則（2010年12月12日第1回理事会承認）

社員総会規則（2010年10月16日社員総会承認）

理事会規則（2010年12月12日第1回理事会承認）

委員会設置規則（2010年12月12日第1回理事会承認）

事務局設置規則（2010年12月12日第1回理事会承認）

情報公開規則（2010年12月12日第1回理事会承認）

個人情報取扱規則（2010年12月12日第1回理事会承認）

個人情報保護ポリシー（2010年12月12日第1回理事会承認）

役員選出規定（2011年4月10日第2回理事会承認）

その他、運営上必要な、申し合わせや内規を順次作成した。

#### （2）対外契約等の実施

- ・銀行口座を開設した。
- ・インターネットドメイン（resja.or.jp）を取得した。
- ・各種契約・登録名義を変更した。（一部については申請準備段階）
- ・関連団体等への案内を行った。（順次）

#### （3）公益認定を受けるか否かの検討

- ・法人理事会としては、次期理事会任期中（2011年8月～2013年8月）に公益認定を目指して検討していくことにしたいが、いくつかの問題点があるため、会員（任意団体会員を含む）から意見募集を行って、その結果をふまえて、社員総会（および任意団体総会）に報告するとともに、次期理事会へ申し送ることとした。

### 2-2．事業・企画に関わる事項

#### （1）リハ工学カンファレンス関連

##### 1）リハ工学カンファレンスの準備

- ・第26回リハ工学カンファレンス（大阪）の開催準備を行った。  
（主催団体を任意団体から法人に変更し、今度発送後援協賛依頼等の文書の対応）
- ・第27回以降のリハ工学カンファレンス開催候補地の確定と、開催準備を支援した。（継続中）

#### （2）協会誌関連

##### 1）協会誌の発行

- ・Vol.26 No.1、2は、任意団体と法人との共同発行とした。

##### 2）協会誌の編集等

- ・2011年4月からの編集委員会を法人として委嘱した。（法人編集、団体発行と分担する）
- ・投稿論文2件について、査読者の選定と査読依頼を行った。

### (3) 福祉機器コンテスト関連

#### 1) 福祉機器コンテスト 2011 の準備・実施 (継続中)

- ・協賛企業を増やし (2010: 2 社、2011: 6 社) 財政基盤を強化した。
- ・大学・高専部門と小学～高校部門を 2 つに分けていた学生部門を一つに統一した。  
募集期間: 機器開発部門 2011 年 5 月 2 日 (土) ~ 6 月 13 日 (月) (当日消印有効)  
学生部門 2011 年 5 月 2 日 (土) ~ 7 月 11 日 (月) (当日消印有効)

#### 2) コンテスト発展のための取り組み

- ・協賛企業の特典を明確にして、その確保を目指した。
- ・社団法人日本作業療法士協会との共同開催は一旦白紙に戻し、連携方法を含めて再検討することにした。

### (4) 専門委員会

#### 1) 「東日本大震災復興支援に関する専門委員会」(委員長: 沖川悦三) の設置 (継続中)

- ・「みちのく補助器具ネット」に参加し、メーリングリストや Twitter による情報収集と役割分担をした。
- ・宮城県リハビリテーション支援センターからの支援協力依頼を受け、現地を視察し、支援計画を検討した。

### (5) 企画推進事業

#### 1) 学会展示会、広報活動強化

- ・以下の展示会へブースを設定し、広報活動を実施した  
第 37 回国際福祉機器 (2010 年 9 月 29 日 ~ 10 月 1 日、東京ビッグサイト)  
第 12 回西日本国際福祉機器展 (2009 年 11 月 11 日 ~ 13 日、於: 西日本総合展示場)  
バリアフリー 2011 (2011 年 4 月 14 日 ~ 16 日 於: インテックス大阪)

#### 2) 国際関連事業

- ・RESKO の徳島アグリーメント・グループへの参加支援を行った (継続中)
- ・第 26 回リハビリ工学カンファレンスでの、国際セッションへの国内外からの投稿数増加策の検討および広報を行った。
- ・第 26 回リハビリ工学カンファレンス開会式での RESKO 代表挨拶を要請した。

#### 3) ワークショップ等の開催

- ・バリアフリー 2011 において、ワークショップを開催した (2011 年 4 月 15 日)。  
テーマ「リハビリテーション工学で「自律」生活を!  
~ 福祉機器コンテスト受賞作品を交えて ~」  
講演者: 松尾 清美 (団体前理事長 (法人副会長))、田中 理 (法人会長)

#### 4) 共同出版事業

- ・日本生活支援工学会との共編 (生活支援工学概論) の出版にむけて作業を継続した。(継続中)

#### 5) 社団法人日本作業療法士協会との協同事業調整

- ・日本作業療法士協会会長と連名で「応急仮設住宅への提言」を作成した。

### (6) 後援・協賛事業

- ・以下の事業については、法人として後援・共催の承諾の回答を行った。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター	2011/2/5	平成 22 年度 福祉用具適合講習会 『南多摩福祉機器展』
2	後援	日本チェアスキー協会	2011/2/24 ~ 27	第 32 回日本チェアスキー大会 - みんなのすきーきょうしつ-
3	協賛	特定非営利活動法人モバイル学会	2011/3/10 ~ 11	シンポジウム「モバイル 11」
4	協賛	一般社団法人日本人間工学会	2011/6/6 ~ 7	日本人間工学会 第 52 回大会